
第 8 回新技術発表会 2015 で [コンテクト WE100 工法] を発表します

このたび建通新聞社主催の NETIS 登録技術を紹介する「新技術発表会」にて、先日 NETIS に登録されました弊社「コンテクト WE100 工法」の発表を致しますので、下記の通りご案内申し上げます。

当日は弊社の技術担当者がプレゼンテーションを行い、質疑応答の時間も設けられる予定ですので、当工法のより詳しい情報をお伝えできるものと考えております。

是非この機会にお誘いあわせの上ご公聴頂きたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

開催概要

- 名称 第 8 回新技術発表会 2015 in 東京
<http://www.kentsu.co.jp/seminar/view.asp?cd=420>
- 開催場所 浜離宮建設プラザ 大会議室（東京都中央区築地 5-5-12）
- 日時 2015 年 12 月 3 日（木） 13:00～
- 受講料 無料（定員 120 名）
- お申込み 別添の申込書をご使用下さい。（建通新聞社へ直接申し込みとなります）
以下リンクからも取得できます。
<http://www.kentsu.co.jp/seminar/file/420> 第 8 回新技術発表会プログラム・申込書.pdf
【11 月 30 日 〆切】

- 中国塗料発表 時間 14:50～15:15
表題 湿潤面対応コンクリート剥落防止工法「コンテクトWE100 工法」

以上

第8回 新技術発表会 2015 in東京

注目のNETIS 登録技術を紹介

発表対象は、いずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。
メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

日時 2015.12/3 木
13:00~17:05(受付12:00~)

会場 浜離宮建設プラザ
大会議室 (東京都中央区築地5-5-12) **定員 120人**

— 新技術発表会プログラム —

- 13:00 ~13:25 「マイクロプリズム型高輝度反射シート」
／エイブリィ・デニソン・ジャパン・マテリアルズ(株)
- 13:25 ~13:50 「地中控え護岸工法」
／TRD工法協会
- 13:50 ~14:15 「SQSシステム工法レジテクトCVスプレー工法」
／(株)ダイフレックス
- 14:15 ~14:25 休憩(10分)
- 14:25 ~14:50 「杭先端パワーチャッキング(PG)工法」
／既存杭引抜工法協会
- 14:50 ~15:15 「湿潤面対応コンクリート剥落防止工法「コンテクトWE100工法」」
／中国塗料(株)
- 15:15 ~15:40 「仮締切LPF工法」
／(株)日本海洋サービス
- 15:40 ~15:50 休憩(10分)
- 15:50 ~16:15 「マルチストレナーナ工法」
／地盤注入開発機構
- 16:15 ~16:40 「V-JET工法」
／V-JET協会
- 16:40 ~17:05 「光ファイバ変位計測システム(DIMRO)」
／NTTインフラネット(株)

申込方法

- ① FAX.03-5425-2075
(裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL)
<http://www.kentsu.co.jp>

参加費 無料

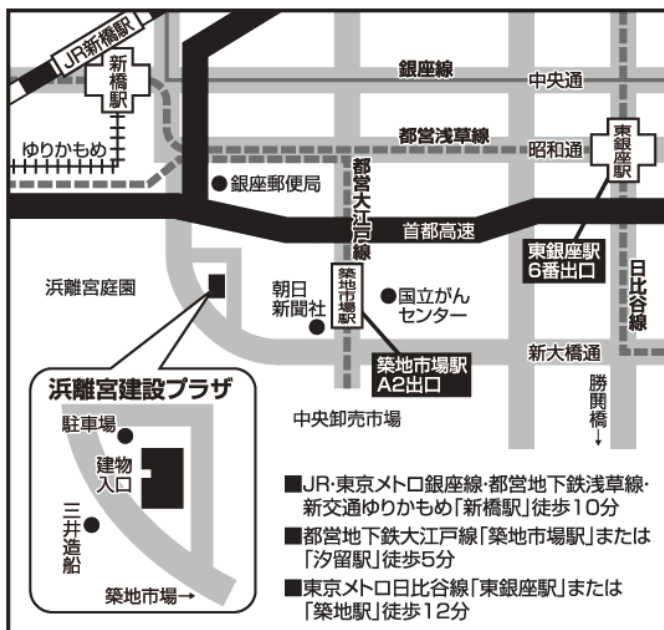
申込期限

2015年11月30日
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

継続教育

CPD・CPDS認定プログラム
■建設コンサルタンツ協会(3.75単位)
■土木施工管理技士会(4ユニット)

アクセス



問い合わせ先

建通新聞社

建通新聞社「新技術発表会」係

TEL.03-5425-2070

1

マイクロプリズム型高輝度反射シート

エイブリー・デニソン・ジャパン・マテリアルズ(株)

工事看板や交通標識等に貼り付けるマイクロプリズム型再帰反射シートで、従来はカプセルレンズ型再帰反射シートで対応していた。本技術の活用により再帰反射性能が高まり、これにより視認性が向上したため、工事現場、作業現場等での安全性向上が期待できる。

2

地中控え護岸工法

TRD工法協会

高水敷の侵食を食い止める技術で、従来はコンクリートブロック張工法で対応していた。本技術の活用により、仮締切りを不要とした通年施工が可能となり、周辺環境への影響抑制と省人化・コスト縮減・工期短縮が期待できる。

3

SQSシステム工法レジテクトCVスプレー工法

(株)ダイブックス

超速硬化するポリウレタン系材料を構造物に機械吹付けし、防水膜・保護膜を形成する工法。本技術により、複雑な形状、埋戻等の土圧等により困難な部位でも信頼性の高い防水効果・表面保護効果及び優れた耐久性が期待できる。

4

杭先端パワーチャッキング(PG)工法

既存杭引抜工法協会

既存杭引抜工事について既存杭の引抜き及び埋め戻し(注入)を並行して行なえる技術であり、従来はケーシング回転掘削工法で対応していた。本技術の活用により工期の短縮と経済性の向上が期待できる。

5

湿潤面対応コンクリート剥落防止工法「コンテクトWE100工法」

中国塗料(株)

コンクリート構造物の結露、降雨・降雪、護岸河川飛沫等による湿潤面に直接施工できる工程短縮型コンクリート剥落防止工法。また無溶剤塗料を使用することにより、人体、環境への負荷を低減できる。

6

仮締切LPF工法

(株)日本海洋サービス

既設橋脚における仮締切りの設置工法であり、従来は潜水工による水中施工であったが、工程が長くコストが高み安全等の問題があった。しかし、本技術では水上で組立て水中に送り出す事が可能なため水中施工を軽減でき、工程・コストの低減・安全性確保が出来る。

7

マルチストレーナ工法

地盤注入開発機構

独自に開発した注入外管により広範囲の浸透注入の急速施工を可能にした薬液注入である。本技術の活用により施工本数が削減されるため経済性の向上と工期短縮が図れる。

8

V-JET工法

V-JET協会

段差対向噴射機構を持つ先端噴射装置により、大口径化と高速施工を可能にした高圧噴射攪拌工法(二重管工法)である。本技術の活用により、改良体積当たりの固化材量・排泥発生量が減量となるため経済性が向上する。

9

光ファイバ変位計測システム(DIMRO)

NTTインフラネット(株)

長大構造物(トンネル、橋梁など)の変位を高精度に自動計測できる技術で、従来は、測量機器などによる変位測定で対応していた。本技術の適用により、広範囲をリアルタイムに動態監視することができ、工事の安全性、品質の向上および省力化が図れる。

12月3日(木)

新技術発表会 受講申込書

FAX番号: 03-5425-2075

右記、記入の上
上記FAX番号までご送付ください。
申込受付後、受講票をE-mailにてお送りします。

企業名(団体名)

所 属

氏 名

※複数場合は参加される方
全員をご記入ください

住 所

電話番号

FAX番号

E-mail